

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	住宅販売会社 （従業員）	単価の動き	・会社員の購入物件の金額は小さくなっているが、自営業者の購入物件の金額は大きくなっている。	
		百貨店（総務担 当）	お客様の様子	・紳士服売場では、これまでは値札を確認してから商品を選ぶ人が大半であったが、最近はデザインや素材や色を優先して選ぶ人が増えている。	
		衣料品専門店 （経営者）	単価の動き	・秋冬物は、そこそこの売行きであるが、特に高額商品の冬物のアウターが良い。	
		衣料品専門店 （経営者）	販売量の動き	・客単価は前年と比べ1万円弱減少しているが、来客数が20%増加しており、売上は8%増加している。気温の低下とともに、ダウンコートを中心としたアウターが好調である。	
		観光型旅館（経 営者）	来客数の動き	・旅館には団体客が入り、町もにぎわっており、旅行者の動きが活発になっている。	
		ゴルフ場（従業 員）	来客数の動き	・3か月前に比べると、平日の稼働率が良く、前年と比べても予約の状況は良い。	
	変わらない		商店街（代表 者）	お客様の様子	・業種によっては新規出店が増えているが、既存店では、売上が上がらない店舗が多い。
			百貨店（売場担 当）	販売量の動き	・ウォームピズの恩恵を受けている紳士カジュアル品を除いては、期待したほど売上が伸びない。また、宝飾品の動きは依然として厳しい。
			スーパー（店 長）	来客数の動き	・暖冬の影響で、冬物に動きがない。
			スーパー（企画 担当）	単価の動き	・来客数は前年並みであるが、客単価は前年比3%減少している。また、暖冬により、衣料、住関連、食品すべて苦戦している。
			スーパー（店 長）	お客様の様子	・クリスマスケーキ、おせち料理の予約やお歳暮の販売が始まったが、昨年並みの状況である。
			コンビニ（店 長）	来客数の動き	・売上の推移は前年比ではあまり変わりはなく、マスクミ等の景気が上昇してきている話は、客からは聞かれない。
			乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・新型車が発表され、販売量の増大を期待していたが、あまり目新しい商品では無いため、集客力がなく、売上増加につながらない。
			乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・9月以降、軽自動車市場の販売量は前年割れが続いている。
			一般レストラン （経営者）	単価の動き	・安くて良い物だけを注文するといった従来の動向に大きな変化はない。
			都市型ホテル （経営者）	来客数の動き	・来客数は3か月前とあまり変わらず、客単価は、若干減少している。
			旅行代理店（従 業員）	販売量の動き	・職場の団体旅行、家族・グループ旅行の契約が多い。特に、社員旅行が復活の気配をみせている。海外旅行は例年並みで、ヨーロッパ、ハワイ、オーストラリアが主流で、中国、東南アジアは低調である。
			タクシー運転手	お客様の様子	・市内で大きなイベントがあったが、88か所巡拝の減少により、トータルで見ると大きな変化はない。
			タクシー運転手	お客様の様子	・3～4千円台の中距離の客数が減少している。
設計事務所（所 長）	お客様の様子	・耐震構造偽造の問題で、一時的であるがマンションに対する信頼が低下している。			
設計事務所（職 員）	単価の動き	・同業他社の数が増加し、競争が激しくなっており、単価の低下傾向が一層強まっている。			
その他住宅〔不 動産〕（経営 者）	競争相手の様子	・土地の値段は低下し、買い需要は非常に少ない。その上、賃貸住宅への入居者も減っており、同業者間では暗い話が多い。			
やや悪く なっている		商店街（代表 者）	単価の動き	・商店街内の大型店の閉店セールがあり、客はそこそこ入っているが、客単価が上がらない。また、冬物の出足が非常に遅く、単価の低いものしか売れない。	
		一般小売店〔生 花〕（経営者）	お客様の様子	・暖冬の影響で、あまり販売量は良くない。また、客が買い渋っている様子が見られる。	
		一般小売店〔酒 類〕（経営者）	販売量の動き	・ボージョレーヌーボーは高額な物から良く売れたが、飲食店のアルコールの消費量がとても悪く、トータルではとても苦戦している。	

		一般小売店〔菓子〕（販売担当）	単価の動き	・客は、麦酒、発泡酒から第3のビール、缶チューハイへ、コニャック、スコッチから焼酎へと流れており、価格下落に歯止めがかからない。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・来客数が、急激に減少しており、同業他店でも同じような状況である。
	悪くなっている			
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食品品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・既存品は落ちているが、新商品がそこそこ売れており売上は上昇している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・電気機器、化学、薬品などで工場設備の引き合いがかなりあり、当社の方まで波及がみられるようになった。
		公認会計士	取引先の様子	・各取引先の決算書などをみると、若干ではあるが、前年比でプラスになっている企業が増えている。
	変わらない	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・一部、受注に明るさも見られるものの、大口発注先である百貨店での消費は厳しいものがある。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・大型クレーンの稼働率は相変わらず高く、それに伴う引き合い商談の衰えは全く見られない。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・建設部門は、民間の設備投資などで引き合いが比較的順調に入っているが、土木部門は、公共投資の削減により、引き合いが全くない状態が続いている。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・年末商戦を控えているが、貨物量増加の様子が見えない。
		通信業（営業担当）	それ以外	・大型量販店、スーパーの経営層との会話の中で、冬物の最終処分の売行きの伸びが悪く、お歳暮の予約販売も例年より遅れているとの声を聞く。
	やや悪くなっている	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・競合他社では、原材料価格の高騰分を吸収し、差別化を図るべく、総合的な戦略の立て直しが行われており、受注獲得が厳しくなっている。
広告代理店（経営者）		受注量や販売量の動き	・受注量が、例年に比べて落ち込み傾向となっている上に、顧客側からの値引き要請もかなり多い。	
悪くなっている	木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・建物全体の着工数は伸びているが、1戸建て住宅の件数が落ちている。	
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・07年の団塊世代退職問題や大手企業の景気好転で新卒の求人は高まっている。昨年と比較すると、就職サイトへの参加登録企業や採用広告が増加しており、売上が20～30%程度増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は増加しているが、その内訳は短期雇用がかなりの割合を占めている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、一般は横ばいであったが、パートが2けたで増加しているため、3か月連続で増加している。また、有効求人倍率は、前年比で9か月連続で増加している。
	変わらない	求人情報誌製作会社（従業員）	求人数の動き	・求人数の極端な減少がみられる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・広告意欲がほとんど感じられない。広告費の削減を目的としたエリアを絞ったの折り込みチラシは堅調であるが、テレビや新聞広告は良くない。
		民間職業紹介機関（所長）	採用者数の動き	・求職登録数は、前年度とほぼ同数である。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・内定者数の伸びが急に低下している。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	求職者数の動き	・派遣社員の登録者数が前年比で激減し、過去最低の登録者数となっている。
	悪くなっている			